

## ハーモニーフェスタ 2018 My Vision -男女共同参画で描く地域のカタチ-

平成30年6月30日(土)北秋田市にある、北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」において、男女共同参画推進イベント『ハーモニーフェスタ 2018 My Vision-男女共同参画で描く地域のカタチ』が開催されました。

男女共同参画社会づくり表彰では、ハーモニー賞は特定非営利活動法人 秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会(秋田市)に、また、チャレンジ賞はヨーガインストラクター高橋広子さん(湯沢市)が受賞しました。特別講演は秋田市で芸能活動をされているマティログさんとゴトウモエさんご夫婦をお招きし、夫婦としての子育てへの関わり方、ビジネスパートナーとしての働き方についてお話していただきました。出産後お二人揃っての仕事は今回が初めてだそうです。お互いが仕事の予定を決める際に双方の予定を確認してから決めていましたが、今回は託児付きの講演依頼で、託児の重要性も再確認したとのことでした。子育てや働き方改革、夫婦間の男女共同参画などが凝縮された内容の講演でした。その他にも、男女共同参画演劇「SAI…!!」や、地域で活躍している方をゲストに招いてのフォーラムなど、盛りだくさんの内容でした。



男女共同参画社会づくり表彰  
ハーモニー賞  
特定非営利活動法人  
秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会  
チャレンジ賞  
ヨーガインストラクター 高橋広子さん



特別講演  
「秋田で生きる。自分らしく生きる。～夫婦×ビジネスパートナーで今日も二人三脚～」  
(右より)ゴトウモエさん・マティログさん



ハーモニーフォーラム  
ゲスト佐藤龍一夢さん(コウライザープロジェクト)  
浅利俊樹さん(第501軍団)  
塚田悠紘さん(大館商工会議所)  
大川美紀さん(北東北山岳ガイド)  
伊藤 孝子さん(Odate Bond Girl 代表)  
コーディネーター  
加賀谷 七重さん(あきたF・F 推進員)

### 今月の男女共同参画かるた



は亭物  
ま主好  
りき  
け料な  
り理  
に

も

### 編集後記

ハーモニーフェスタ 2018 に参加してきました。上記でも紹介しましたが、マティログさんとゴトウモエさんの話には、とても聴き入ってしまいました。地元を離れた生活をした後に、秋田に戻って来たお二人から、「秋田という地域を盛り上げたい」という思いを強く感じました。働き方改革につながる話もあり、インターネットが普及した現在では、お二人の会社の仕事をされている方が世界各地にいらっしゃるそうです。必ずしも出社して働くのではなく、自身の空き時間をうまく使い働く。今後このような働き方が増えることによって、介護・子育てに関わる人たちが無理なく働いていける環境が整うといいなと思います。(国安)

【きらめき】は、当センター・ホームページでもご覧いただけます。ホームページで見ることができない【きらめきHP版】もございます。フルカラーで見ることが出来ますので是非ご覧ください。  
(<http://www.akita-south-jender.org>)

あなたの“いきいき”応援します。



秋田県南部男女共同参画センター通信★第98号

発行 2018年 7月

秋田県南部男女共同参画センター  
(南部ハーモニープラザ)  
〒013-0046 秋田県横手市神明町1-9  
TEL.0182-33-7018 FAX.0182-33-7038  
<http://www.akita-south-jender.org/>  
E-mail sagec-7002@abelia.ocn.ne.jp

## 「政治分野における女性活躍推進法の成立について思うこと」

南部男女共同参画センター センター長 藤原 恵美子

5月23日に女性の活躍推進法という、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が国会を通りました。何回もダメになり、3年越したということです。これはどういうことかといいますと、国や地方などの議員の女性候補者を増やそうということです。男女の候補者の数が出来る限り均等になることを目指して行われるものとするということが、この法律の基本原則になっています。

ジェンダーギャップ指数が、144ヶ国中、日本は114位。先進国では、下位は日本だけです。これは、政治、経済分野が遅れているからです。健康分野は1位、教育分野は74位。政治は127位。全体では114位。ようやく今、多くの女性達、多くの女性団体からの要望が叶えられたということになります。

この法律の、第4条に、「政党その他の政治団体は基本原則にのっとり、政治分野における男女のそれぞれの公職の候補者数について目標を定める等、自主的に取り組むよう努めるものとする。」

また、第7条には、環境整備として、「国及び地方公共団体は、政治分野における男女共同参画の推進に関する取組を積極的に進めることが出来る環境の整備を行うよう努めるものとする。」

また、第8条に、人材の育成等として、「国及び地方公共団体は、政治分野における男女共同参画が推進されるよう、人材の育成及び活用に資する施策を講ずるよう努めるものとする」

法律が出来たからといって、もう大丈夫ということでは決してなく、特に、選挙に出る際には、供託金が必要で、特に国会議員の場合は何百万円というお金が必要になります。第7条に、環境整備という項目がありますが、とても大事な部分だと思います。そして、家庭の協力です。家事育児など、また介護まで引き受けている状況での出馬は、大変厳しいところがあると思います。家族からの理解、協力はとても大事なところだと思います。当選後の議員活動への理解も含めてです。

最後に、国や地方の最高機関での政策決定の場に、多くの女性達が進出することで、女性はもちろん男性にとっても、住みやすい社会になることは間違いのないことであると確信しております。

秋田県南部男女共同参画センター運営事業

第1回センター利用者懇談会

平成30年5月29日(火)、南部男女共同参画センターにて第1回センター利用者懇談会が行われ、21団体22名に参加いただきました。今年度の事業報告や利用にあたってのご意見・ご要望を戴きました。

その後のグループワークでは、『受講して良かった講座・今後、受講してみたい講座・知りたいこと、学びたいこと』を発表し合いました。受講してみたい講座には少子化問題や介護関係が多く、関心の高さが伺えました。他にも健康や趣味(音楽等)に対しても学びの気持ちが強いことがわかりました。



秋田県南部男女共同参画ネットワーク事業

第1回地域連携ネットワーク会議

平成30年6月20日(水)、秋田県南部男女共同参画センターにて第1回地域連携ネットワーク会議が行われました。これは男女共同参画社会づくりの推進のため、あきたF・F推進員、センター利用団体、県南部市町村担当者、男女共同参画センターが互いに連携し、地域課題の解決に向けた情報交換や相互協力を図ることを目的としています。あきたF・F推進員、関係団体代表、県市町村職員の24名が参加しました。

今回の講話は、性と人権ネットワーク・ESTOのスタッフ、安保奈都子さんに『LGBTに関する解説とESTOの活動』についてお話していただきました。その後のグループワークでは、LGBTへの周囲の理解を深めるために「男女共同参画に携わる私たちが出来ることは何か」を話し合いました。今回の講話・グループワークによって、性的マイノリティへの差別や偏見が減り、少しでもLGBTに対する理解が深まっただけであればと思います。LGBTの割合は決して少なくはありません。知られないように生きている人が大半です。誰もが自分自身を偽らずに暮らしていける世の中になって欲しいと思います。



グループワークでの意見(抜粋)

- 学校教育の中で、人権に関する学びの機会をつくる必要性がある。
- 学校、教師の理解(研修が必要)
- 男女共同参画の理念にLGBTが含まれている。
- テレビや映画の世界では色々なケースで発表されているが、身近なところでは見聞きすることがない。
- 正直、複雑すぎて理解が追い付かない。
- その人の個性だと思えばOK。



性と人権ネットワークESTO

ESTOは、すべての人がその性の在り様に関わらず存在(Est)を尊重(Esteem)されることを願い、人と情報の交流によるネットワークを豊かなものにするために、1998年10月25日に発足した非営利の団体です。自覚する性別と身体や書類上の性別に違和感がある人、生まれつき身体の性別が曖昧な人、同性を好きになる人などへの支援活動を通して、自分の「性」を考え、セクシュアリティの尊重とジェンダーの平等をめざす活動をしています。

☆男女共同参画関連用語☆ LGBTとは?

LGBTとは、レズビアン(Lesbian:女性同性愛者)、ゲイ(Gay:男性同性愛者)、バイセクシュアル(Bisexual:両性愛者)、トランスジェンダー(Transgender:心身の性別不一致を感じる人)の英語の頭文字を取った性的少数者の総称を表したものです。どの性別を好きになるか?ということ「性的指向(せいいてきしこう)」と言います。好きになる相手の性別ではなく、自分の性別をどう感じているか?ということ「性自認(せいじにん)」と言います。Tはこの性自認が生まれた時のからだの性別と違ってある人のことを指しています。この多数の人たちに当てはまらない人たちのことをセクシャルマイノリティ(性的少数者、性的マイノリティとも呼ぶ)と呼びます。

- カミングアウト・自身がLGBTであることを公表していること
- クローゼット・自身がLGBTであることを隠していること
- アウトティング・LGBTであることを他者が勝手に公表してしまうこと

日本にLGBT層の人は約8%の割合で存在するとされています。日本の人口の13人に1人はLGBT層ということになります。これは左利きの人や、AB型の人の割合とほぼ同じです。LGBTは、思っているよりずっと身近な存在です。2015年岩手県内の全高校生(有効回答数)8800人を対象に行ったアンケートによると、約10%の人がセクシャルマイノリティであると回答しています。世の中にはセクシャルマイノリティに対する差別が多く、約7割の人は、幼少期にいじめを経験しているそうです。過去にはアウトティングされた大学生が自殺した例もあります。言葉で知らないことで正しい知識を得られないこともあるため、学ぶ機会を増やし、理解を深め差別や偏見が無くなることを願っています。



登録団体ご紹介

あきたクロスロード研究会

代表 齊藤 仁美さん

災害の際に起こりうる状況をシュミレーションし、どう行動するかを考えるカードゲーム「クロスロード」を県内に広めようとしている市民団体です。メンバーが講師を務める防災クロスロード体験会を県南各地で行っています。研修会では、数人のグループで行い、様々な立場に立った時に迫られる課題に対して「YES」か「NO」の判断を繰り返し、選んだ理由について参加者で話し合います。

県民の防災意識向上に向けて、今後も県内各地で行っていく予定です。

クロスロードとは…阪神淡路大震災で災害対応にあたった神戸市職員の実話をもとに、大学教授やゲームデザイナーたちが開発した災害シュミレーションです。



問合せ先

✉ akitacr2018@gmail.com

Tel 090-4314-4088(奥山さん)

講師派遣などの問い合わせもこちらへ。